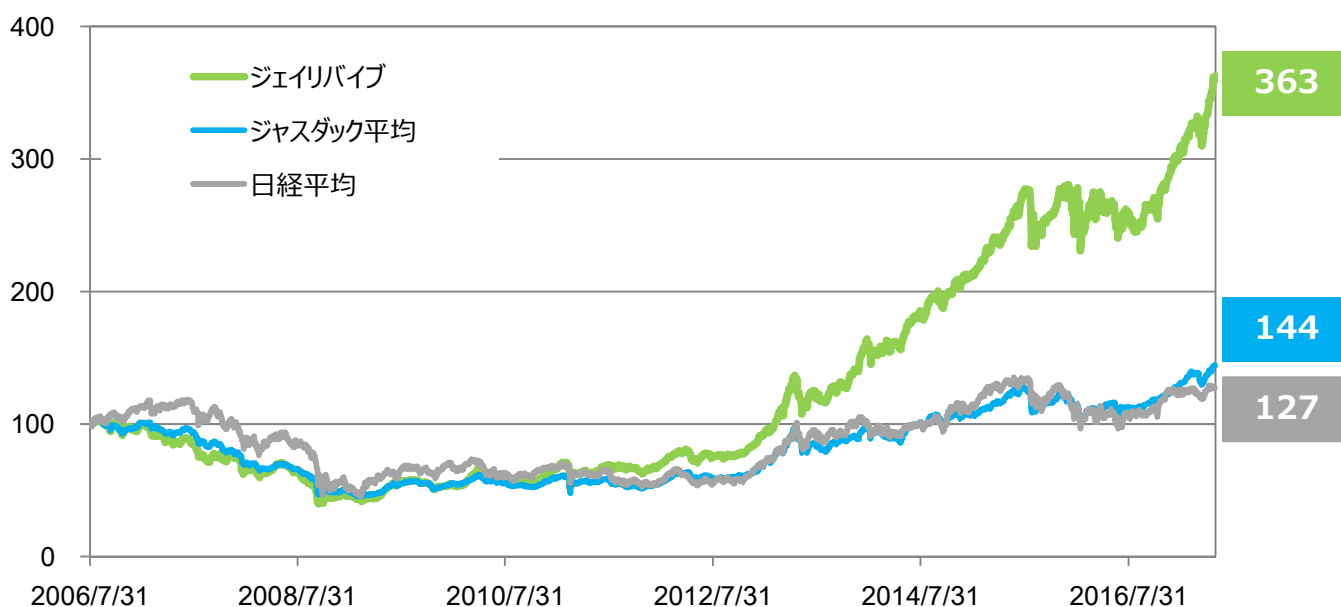


多数の評価機関からパフォーマンスを認められた「ジェイリバイブ」

- SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (愛称: jrevive) は、2006年7月末より運用を開始し、今年で11年目を迎えました。
- 設定来のパフォーマンスは、国内の株式指標 (ジャスダック平均・日経平均) と比較して優秀な成績を収めています。ジェイリバイブは、その優れたパフォーマンス実績から、これまで多数の評価機関から高い評価を得ており、「国内中小型株」の分野において確固たる地位を確立しております。

<設定来の基準価額推移>



<ジェイリバイブの期間別パフォーマンス>

	ジェイリバイブ ①	ジャスダック平均 ②	日経平均 ③	対ジャスダック平均 ① - ②	対日経平均 ① - ③
1年	+35.1%	+24.3%	+14.0%	+10.7%	+21.0%
3年	+118.9%	+57.8%	+34.3%	+61.2%	+84.6%
5年	+393.3%	+141.2%	+130.0%	+252.1%	+263.3%
10年	+319.0%	+54.1%	+9.9%	+264.9%	+309.1%
設定来	+262.6%	+44.2%	+27.1%	+218.4%	+235.5%

【出所】BloombergよりSBIアセットマネジメントが作成
 ※データ期間：2006/7/31 (ジェイリバイブの設定日) ~2017/5/31

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書 (交付目論見書) の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

圧倒的な投資効率を誇る「ジェイリバイブ」

- 「10年間でリターンは3倍超」と長期間で驚異的なパフォーマンスを記録しているジェイリバイブですが、特筆すべきはそのパフォーマンスの高さだけでなく、投資効率の高さです。
- 一般的にリターンが高いファンドを分析した場合、単純に他のファンドより多くのリスクを取っている場合があり、その分リスクも大きくなる性格を持つ可能性があります。そこで、投資効率の高さを示す代表的な指標として、「シャープレシオ」と呼ばれるものがあります。「シャープレシオ」とは、あるリターンを獲得するためにどれくらいのリスクをとっているかを表すものであり、数値が高いほど効率的な運用が行われたということになります。
- ジェイリバイブは、モーニングスター社が公表しているファンドランキングにおいて、10年間のシャープレシオは国内株式型で「第1位」、5年間では全ファンド中「第1位」と投資効率の良さが際立っています。

■“10年シャープレシオ” 国内株式型で第1位！

シャープレシオ > 国内株式型 > 10年間

順位	ファンド名	会社名	カテゴリー	シャープレシオ (10年) (年率)
1	SBI 中小型割安成長株F ジェイリバイブ 『愛称：jrevive』	SBIアセット	国内小型グロース	0.77

■“5年シャープレシオ” 全ファンドで第1位！

シャープレシオ > 全ファンド > 5年間

順位	ファンド名	会社名	カテゴリー	シャープレシオ (5年) (年率)
1	SBI 中小型割安成長株F ジェイリバイブ 『愛称：jrevive』	SBIアセット	国内小型グロース	2.24

【出所】モーニングスター（2017年5月末時点）

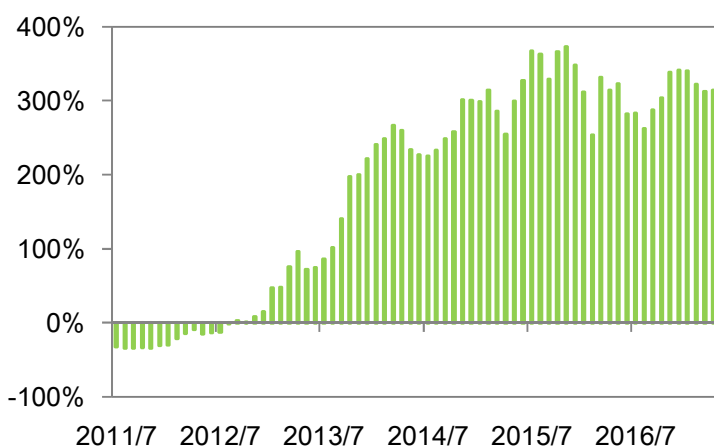
※ D C（確定拠出年金）、S M A（ラップ口座）を除く。

※上記は作成時点での過去の実績等を示したものであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

保有期間の長短に関わらず、安定したリターンを獲得

「中小型株投資」というと、情報収集が難しいことや値動きが大きいいため、長期投資には向かないというイメージを持たれる方が多いのではないのでしょうか。そこで今回は「ジェイリバイブ」の保有期間別のパフォーマンスを検証してみました。

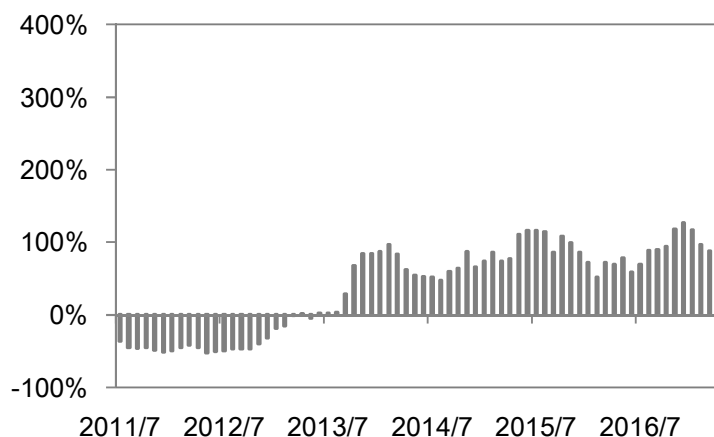
■ ジェイリバイブの5年ローリング・リターン



■ ジェイリバイブのローリング・リターン 平均値とプラス・マイナスの回数

	1年	3年	5年
平均値	+15.64%	+86.1%	+184.9%
プラスの回数	86	73	56
マイナスの回数	32	21	14
プラスの確率	72%	77%	80%

■ 日経平均の5年ローリング・リターン



■ 日経平均のローリング・リターン 平均値とプラス・マイナスの回数

	1年	3年	5年
平均値	+3.49%	+21.64%	+39.26%
プラスの回数	63	58	48
マイナスの回数	55	36	22
プラスの確率	53%	61%	68%

【出所】BloombergよりSBIアセットマネジメントが作成
 ※データ期間：2006/7/31～2017/5/31（月次）
 ※ローリングリターンとは、一定期間のリターンを、起点と終点をずらして計算する手法です。例えば5年間のローリング・リターンにおいて、2011年7月末を基準日としたリターンは計算期間を2006年7月末から2011年7月末としています。
 ※上記は作成時点での過去の実績等を示したものであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

- ✓ 「ジェイリバイブ」は日本の代表的な株価指標である日経平均株価を概ね上回るリターンを獲得しています。2008年のリーマンショック前後では、日経平均株価よりも下値が抑えられており、下値抵抗も備えていることが分かります。
- ✓ 保有期間が長ければ長いほどプラスリターンの獲得割合が高く、5年間保有した場合には、8割の期間でプラスリターンを得ています。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

『厳選割安50社パッケージ』でポートフォリオ内を割安に!

- ・ ジェイリバイブでは、割高な株式は売却 (利益確定) し、割安な株式への投資を続けており、ポートフォリオ全体が常に割安に保たれるよう徹底した銘柄選定を行っています。
- ・ 3年程度でポートフォリオの中身はほぼ入れ替わっており、いつでもその時代を先取りする形で今が旬の「成長割安銘柄」を組入れることで、いかなる環境・タイミングでもマーケットに「勝てる」ファンドを目指しています。

<ジェイリバイブの組入上位銘柄の推移>

-2014年5月末時点-

順位	銘柄	業種	組入比率
1	前田工織	その他製品	3.09%
2	藤森工業	化学	3.08%
3	リゾートトラスト	サービス業	3.07%
4	くらコーポレーション	小売業	3.06%
5	コメ兵	小売業	3.05%
6	ピーシーデポコーポレーション	小売業	3.04%
7	CDS	サービス業	2.94%
8	ウイン・パートナーズ	卸売業	2.92%
9	萩原工業	その他製品	2.80%
10	サンコーテクノ	金属製品	2.80%

-2015年5月末時点-

順位	銘柄	業種	組入比率
1	日進工具	機械	3.40%
2	ピーシーデポコーポレーション	小売業	3.28%
3	ニチハ	ガラス・土石製品	3.17%
4	内外トランスライン	倉庫・運輸関連業	3.12%
5	ダブル・スコープ	電気機器	3.07%
6	前田工織	その他製品	2.93%
7	コメ兵	小売業	2.86%
8	東京個別指導学院	サービス業	2.82%
9	萩原工業	その他製品	2.71%
10	ヒラノテクシード	機械	2.69%

今が旬の割安銘柄を発掘

-2017年5月末時点-

順位	銘柄	業種	組入比率
1	アミューズ	サービス業	3.61%
2	ニチハ	ガラス・土石製品	3.49%
3	福井コンピュータホールディングス	情報・通信業	3.48%
4	プレステージ・インターナショナル	サービス業	3.34%
5	エン・ジャパン	サービス業	3.26%
6	日本マイクロニクス	電気機器	3.20%
7	サカイ引越センター	陸運業	3.04%
8	第一精工	電気機器	3.01%
9	ラウンドワン	サービス業	2.89%
10	SHOEI	その他製品	2.80%

-2016年5月末時点-

順位	銘柄	業種	組入比率
1	ピーシーデポコーポレーション	小売業	3.59%
2	プレステージ・インターナショナル	サービス業	3.10%
3	福井コンピュータホールディングス	情報・通信業	3.05%
4	東京精密	精密機器	3.04%
5	日精イー・エス・ビー機械	機械	3.01%
6	東京個別指導学院	サービス業	2.96%
7	前田工織	その他製品	2.91%
8	SHOEI	その他製品	2.83%
9	くらコーポレーション	小売業	2.69%
10	ワコム	電気機器	2.66%

【出所】SBIアセットマネジメント

※新規銘柄は網掛け

※下記の「銘柄紹介」は当ファンドのご理解を深めていただくために作成したものであり、銘柄への投資を推奨するものではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書 (交付目論見書) の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

お客様にご負担いただく費用等

購入時手数料	上限 3.24%（税抜3.0%） （お買付時に直接ご負担いただく費用）
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対し0.3%
運用管理費用（信託報酬）	上限 年1.836%（税抜：年1.7%） （保有期間中にファンドが負担する費用（間接的にご負担いただく費用））
その他の費用および手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等（有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等）が信託財産から差引かれます。なお、これらの費用は、監査費用を除き、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

当該費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

＜ご注意＞

投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

ファンドにかかるリスク

本ファンドは、マザーファンドを通じて主に国内株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、投資者の皆様が投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

（主な変動要因）

①価格変動リスク、②流動性リスク、③信用リスク

お申し込みの際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

委託会社、その他関係法人

＜委託会社＞

SBIアセットマネジメント株式会社（ファンドの運用指図を行います。）
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号
加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

＜受託会社＞

三菱UFJ信託銀行株式会社（ファンド財産の保管・管理等を行います。）

＜販売会社＞

株式会社SBI証券
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号
加入協会／日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様へ帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。